

令和7年度

東明小だより

令和7年5月27日
第3号



東明小学校の4本柱



校長 中嶋 聡子

5月16日、児童会が中心となって「1年生を迎える会」を行いました。

1年生の子どもたちは、一人一人担任の先生から名前を呼ばれると、指先までまっすぐのばして手を挙げ、「はい。」と返事をし、お辞儀をすることができました。一人一人のはっきりとした返事や落ち着いた態度から、子どもたちのやる気を感じました。

2年生～5年生の子どもたちからは、1年生に向けて東明小学校の児童会が大切にしている4つの柱について紹介し、そのよさを伝えました。児童会で大切にしている東明小の4本柱について紹介します。

「あいさつ」……あいさつをすると、お互いにうれしくなり「相手と心がつながる」こと。

さらに、名前をつけてあいさつをすると心がポカポカ温まるよさがあること。

「思いやり」……東明小学校では、「東明小スマイル宣言」があり、みんなで「思いやり」の心を大事にしていること。お互いに気持ちよくすごすために、この合言葉があること。

＜スマイル宣言＞ と……ともだちにやさしくします。

う……うれしい言葉をかけ合います。

め……目を見て大きな声であいさつをします。

い……いじめ0（ゼロ）にします。

「そうじ」……最後まで・静かに・すみずみまで・精一杯掃除をすると気持ちがよいこと。

「授業」……みんなで学習に意欲的に取り組み、考えを広げたり、深めたりする授業をつくり上げること。

話し合いを深めるために、ハンドサインを使うとよいこと。

6年生は、体育館の飾りつけ、1年生と手をつないで入場、花のアーチづくりと東明小学校の一人一人が準備や発表に関わりました。「1年生を安心させてあげたい。」という、みんなの気持ちがこもった温かい会となりました。保護者の皆様にも、子どもたちが東明小学校の伝統として大事にしている4本柱をご理解いただき、応援していただけたらと思います。PTA 家庭教育学級へのご参加もありがとうございました。

